

きょう高卒採用選考解禁 求人3倍 本地 争奪戦激化

2024年春に卒業する高校生の採用選考がきょう16日、解禁される。本荘由利地域では、週明けの19日から試験が本格的に始まる。少子化による人手不足が深刻化する中、主力生産拠



模擬面接を終え教諭からアドバイスを受ける女子生徒＝由利本荘市西目町の西目高校

「明るい声で自分をPRするというのが一般的だ。今年は今月5日にスタート。大半の都道府県は生徒手の話をうなずきながら聞く姿勢はともないうえ、選考解禁を目前に控えた14日後、西目高校では模擬面接を終えた3年生に対し、面接官役を務めた教師がアドバイスを送っていた。高校生の就職活動は、学業への支障を避けるため高校を通して企業に応募する。今年7月末時点は前年同期比80人(16.7%)増の

点を置く大手メーカーが高校生の採用を強化。求人倍率は3倍超と高水準で、地域の若い人材の争奪戦は一段と激しくなっている。

強まる安定・大手志向

5600人。これに対し、県内で就職を希望する生徒数は同23人(11.9%)減の1838人で、求人倍率は0.73倍増の3.06倍となった。地元高校で進路指導に当たる複数の教諭や関係者によると、電子部品大手のTDKと子会社は計約600人の採用を計画。管内の求人数の3割超を占める。保護者と生徒ともに安定志向・大手志向を強めており、TDKグループに「入りたい」とする傾向は根強いという。

一方、地元中小企業は従業員の年齢構成が高く、事業継続に向けて若手人材の獲得を急ぐ。初任給の引き上げを進め、事業内容のPRに注力。だが、現時点で応募がゼロという企業もある。由利本荘市の製造会社は、高卒者5人の採用を目標に掲げる。23年春は2人が入社したが、22年は一人も採用できておらず、近年苦戦している。来春高卒者の応募はまだないという。会社は初任給を数千円



7月に行われた求人情報説明会。TDKグループのブースには多くの高校生が集まった＝由利本荘市石脇のナイスアリーナ

にかほ市の建設会社は若手人材が少ないとして、高卒者の採用を進めたい考え。採用担当者は「市内の他の会社も応募がないと聞く。会社の将来を考えると人を増やしたいが、難しい」と語る。(長田雅巳、二木佳奈)